

第12回「晴れの国おかやま検定」の結果について

- 開催日程 令和8年2月1日（日）13：30～
- 申込者数 842名
- 受験者数 765名（出席率 90.9%）
- 認定者数 413名（達人 21名・博士 392名）
- 認定率 54.0%
- 最高点 96点
- 平均点 60.4点
- 団体数 26団体
- 合格発表 令和8年3月9日（月）10時

第12回「晴れの国おかやま検定」の結果について

◇年代別認定率

年代	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
達人	0	1	0	2	5	9	3	1
博士	4	33	46	61	95	80	62	11
実受験者数	15	145	106	136	164	112	74	13
認定率	26.67%	23.45%	43.40%	46.32%	60.98%	79.46%	87.84%	92.31%

◇晴れの国おかやま検定 統計データ（第10～11回）

年度	受験者数	団体数	認定者数			認定率
			達人	博士	計	
第11回（令和6年度）	723	24	20	375	395	54.6
第10回（令和5年度）	773	24	18	408	426	55.1
第9回（令和4年度）	688	15	36	425	461	67.0

◆ 正答率が高かった問題 <正答率97.6%>

笠岡市の神島水道近辺はある生物の繁殖地として国指定天然記念物に指定されている。この「生きている化石」と呼ばれ、医療分野において血液の活用が重要視されている生物は次のうちどれか。

- 1 カブトガニ
- 2 シーラカンス
- 3 オウムガイ
- 4 ヌタウナギ

◆ 正答率が高かった問題 <正答率97.0%>

現在の総社市に生まれ、備中宝福寺、京都の相国寺などで修業を行ったと伝えられており、水墨画家として名声を得た。『天橋立図』などの現存する作品6点は国宝に指定されているこの人物は次のうちどれか。

- 1 雪舟
- 2 周文
- 3 平櫛田中
- 4 尾形光琳

◆ 正答率が低かった問題 <正答率15.0%>

2025（令和7）年に4回目の開催を迎えた岡山県北にある西日本有数の温泉地「美作三湯（湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉）」を舞台とした、温泉宿や周辺施設に芸術作品を展示する回遊型アートイベントの名前は次のうちどれか。

- 1 美作三湯ホットスプリングアート
- 2 美作三湯オンセナート
- 3 美作三湯芸術温度
- 4 美作三湯芸術祭